

Education First

1 主 題 世界の子どもたちの現状から考えよう

2 主題・教材について

日本の子どもたちは、物質的に恵まれた環境の中で暮らしていると言われている。しかし、その中であって貧困状況にある子どもも少なからず存在している。まして、世界に目を向けると、そこには厳しい状況に置かれた子どもの姿がある。子どもの将来が、その生まれ育った環境によって左右されることは重大な問題である。

この教材では、日本ユニセフ協会の「世界の子どもデータ」をもとに、厳しい環境の中でもたくましく生きる子どもたちの姿を通して、生きることの意義について考えさせたい。また、子どもの基本的人権を尊重することを目指して「子どもの権利条約」が定められたことやその具現化に向けた取組の必要性などについて、マララ・ユスフザイさんの国連でのスピーチから考えさせたい。

さらには、この学習を通して、教育の大切さに気づき、学ぶ意欲を高め、今、自分には何ができるかを考え、行動に移そうとする態度を身に付けさせたい。

(関連教科・領域：社会、道徳、総合的な学習の時間)

- 3 ねらい
- ・世界の子どもたちが置かれている現状を知る。
 - ・世界の子どもたちの思いや願いに共感できる態度を養う。

4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	自分たちの日常をふり返ろう。		ワークシート
	・「学校に行くこと」「食事をする」「生きていること」について日頃感じていることを発表する。	・自由に意見が出せる雰囲気大切に ・それぞれについて、自分自身の日常の様子とそれに対する思いをふり返らせる。	
展開	資料を通して、世界の子どもたちの日常を知ろう。		ワークシート DVD
	・地図（データ）、文章、写真（P.26～P.28）から読み取ったことをワークシートにまとめる。 ・自分の日常と資料から読み取ったことを比較して考えを深める。 ・ワークシートをもとにグループで意見交換を行う。	・社会（地理的分野）の学習内容と関連付けて展開することが考えられる。 ・自分たちの日常と重ねて考えさせたい。その際には、「自分たちは恵まれている」等で終わることのないように留意する。	
展開	マララさんのスピーチから考えよう。		ワークシート 参考
	・マララさんのスピーチを読み、感想をまとめる。 ・「教育こそが唯一の解決策です。」について、話し合う。	・教育によって世界が変わるということに気づかせるとともに、将来に対して希望をもたせ、学習に対する意欲を高めたい。	
展開	「子どもの権利条約」を確認しよう。		資料
	・「子どもの権利条約」（概要）を読み、国は子どもの教育を受ける権利を保障しな	・子どもの権利条約についてインターネット等で調べ学習を行うことも考	

	ければならない（第28条）ことを確認する。 ・「子どもの権利条約」を具現化するためには何が必要かを考え、意見交換を行う。	えられる。	
まとめ	学習をふり返ろう。 ・学習したことについてふり返る。		ワークシート

《参考》

マララ・ユスフザイさん

1997年7月12日、パキスタンにあるカイバル・パクトゥンクワ州ミンゴラで生まれる。

2012年10月9日学校から帰る途中、女性が教育を受けることをよしとしないイスラム過激派武装集団タリバンからの銃撃を受け、頭部と首を負傷。イギリスで治療を受け、一命をとりとめる。

その後も強い信念のもと、内戦が続くシリアの子どもへの援助や、アフリカのナイジェリアでイスラム武装勢力に誘拐された女子生徒の解放を求める等、世界中の全ての子どもが教育を受けられるようにするための活動を精力的に行う。その勇気と努力がすばらしいと認められ、30近くのさまざまな賞がマララさんに授与された。2014年、史上最年少のノーベル平和賞受賞者となる。

《資料》

「子どもの権利条約」

条	見出し	条	見出し
1	子どもの定義	21	養子縁組
2	差別の禁止	22	難民の子ども
3	子どもにもっともよいことを	23	障害のある子ども
4	国の義務	24	健康・医療への権利
5	親の指導を尊重	25	病院などの施設に入っている
6	生きる権利・育つ権利	26	社会保障を受ける権利
7	名前・国籍をもつ権利	27	生活水準の確保
8	名前・国籍・家族関係を守る	28	教育を受ける権利
9	親と引き離されない権利	29	教育の目的
10	他の国にいる親と会える権利	30	少数民族・先住民の子ども
11	よその国に連れられない権利	31	休み、遊ぶ権利
12	意見を表す権利	32	経済的搾取・有害な労働からの保護
13	表現の自由	33	麻薬・覚せい剤などからの保護
14	思想・良心・宗教の自由	34	性的搾取からの保護
15	結社・集会の自由	35	ううかい・売買からの保護
16	プライバシー・名誉は守られる	36	あらゆる搾取からの保護
17	適切な情報の入手	37	ごうもん・死刑の禁止
18	子どもの養育はまず親に責任	38	戦争からの保護
19	虐待・放任からの保護	39	犠牲になった子どもを守る
20	家庭を奪われた子どもの保護	40	子どもに関する司法
41	条約と国内法及び他の国際法との関係		
42	条約の広報義務		
43～45	委員会の設置等		
46～54	署名、批准、加入、効力発生、改正、留保等についての規定		

▶ 参考となるホームページ ◀

- ・世界の子どもデータ：子どもと先生の広場：日本ユニセフ協会
http://www.unicef.or.jp/kodomo/data/da_bod0.htm
- ・子どもの権利条約：子どもと先生の広場：日本ユニセフ協会
<http://www.unicef.or.jp/kenri/>

◇自分の日常をふり返ってみましょう。

	学校に行くこと	食事をする事	生きていること
日頃 ^{ころ} の自分の様子 はどうですか。			
日頃の自分の様子 について、どう思 っていますか。			

◇資料から読み取ったことや感じたことをまとめましょう。

	小学校に通っている 子どもの割合	中・重度の低体重児 (5歳未満)の割合	5歳 ^{さい} になる前に命を失う 子どもの割合
地図(データ)、文 章、写真から読み 取ったこと			
感じたこと			

◇マララ・ユスフザイさんのスピーチを読んで、感想をまとめましょう。

--

◇今日の学習をふり返って、今、自分にできることを考えましょう。

--

名前_____